

# 北海道スマレ集覧

千歳市 五十嵐 博

## はじめに

北海道にはいったい何種のスマレがあるのかを調べだしてから早いもので10年程の年月が経ってしまった。恩師である原松次先生からの独立を考え出して、手始めに春植物のスケッチを描くことからスタートしたのは1992年春からで、その中でもスマレを最初に描いてみたのが私のスマレ狂いの始まりであった。1992年秋に北海道スマレ情報センターを開設し「スマレニュース」を6号まで出したが情報が余り集まらなくなったのでスマレ以外の全ての植物を対象にしようと考えて、北海道野生植物研究所に変更したのが1997年である。スマレニュース6号(1994)で北海道スマレ目録を作成してみたが未確認も多く、問題点もあったためにその後は1種ごとの北海道分布を北海道野生植物研究所報告誌上などで発表してきた。今回は現在までの調査結果を整理して北海道のスマレ目録として報告するが2005年に「北海道のスマレ」を出版したいと考えているので当集覧はそのための予報である。

## 日本におけるスマレ科の総数

日本全体のスマレ科の総数報告としては前川・橋本(1963)が56種、5亜種、20変種、96品種(28雑種)の177分類群を整理し報告している。この前に前川は原寛の日本種子植物集覧のスマレ科を担当している。

その後、井波(1966)、橋本(1967)、前川・橋本(1968)、浜(1975)、榎山(1982)などでは約50種、いがり(1996)では約150種(変種・品種含み)、Akiyama et al(1999)では55種が日本における総数として掲載されている。

## 北海道におけるスマレ科の総数

北海道では土田(1990)が28種1亜種8変種32品種13雑種を報告している。伊藤ほか(1994)では36種9変種33品種が掲載されているが、この中でタチスマレは小樽博物館の標本を確認したところシロバナスマレであり道内には分布しないことが確認された。また、フチゲオオバキスマレ、ケマルバスマレなどが未掲載である。

五十嵐(1994)では93分類群を整理したが未完成であったので今回、学名はAkiyama et al(1999)を基本とし(一部は変更)以下の北海道のスマレ集覧を作成した。記載の順はNo. 和名(別名)：学名。初出論文名：異名。Hab.：確認支庁名。変種、品種の学名と、

主な特徴などを整理した。この集覧には問題点も残されているので今後の課題は多い。

### 北海道スミレ集覧

01. エゾノタチツボスミレ (イヌスミレ) : *Viola acuminata* Ledeb. Fl. Ross. I, 252 (1842) 05  
Hab. : 渡島・檜山・後志・胆振・日高・石狩・空知・上川・留萌・宗谷・網走・十勝・  
釧路・根室  
・全道に分布するが十勝などが主な分布域である。白花品種、無毛品種と分ける場合がある。筆者は白花品種は各地で確認しているが無毛品種は見えない。
- 01-1. シロバナエゾノタチツボスミレ : f. *alba* Moriya Sugimoto, Keys Harb. Pl. Jap. 1 : 346 (1965). 05  
Hab. : 胆振・日高・石狩・網走・十勝・釧路・根室
- 01-2. ケナシエゾノタチツボスミレ : f. *glaberrima* (H. Hara) Kitam. Ill. Violets Jap. : 140 (1966). 05  
Hab. : 詳細不明
02. ジンヨウキスミレ : *Viola alliarifolia* Nakai in Bot. Mag. Tokyo 36 : 32, (1922). 05  
Hab. : 余市山系・大雪山系・北見山系
03. キバナノコマノツメ : *Viola biflora* L., Sp. Pl. ed. 1, 2 : 936 (1753).  
Hab. : 狩場山系・後志 (雷電)・余市山系・日高山系・夕張山系・大雪山系・北見山系・宗谷 (ポロヌブリ山・利尻島・礼文島)・阿寒山系  
・ジンヨウキスミレ、キバナノコマノツメの2種は高山分布型であるが、キバナノコマノツメは溪流沿いなどでも確認され、やや低標高でも確認される。
04. ウスバスミレ : *Viola blandiformis* Nakai in Bull. Soc. Bot. France 72 : 192 (1925). 05  
Hab. : 後志・胆振・日高・石狩・空知・上川・宗谷・網走・釧路
- 04-1. チシマウスバスミレ (ケウスバスミレ) : var. *pilosa* H. Hara in Journ. Fac. Sci. Univ. Tokyo sect. 3, : 85 (1952); *Viola hultenii* W. Becker in Ark. Bot. 22A (3) : 4 (1928). ケウスバスミレ (Miyabe et Tatewaki 1934). 05  
Hab. : 十勝・釧路・根室・知床山系・空知?  
・ウスバスミレは亜高山などに生育し、チシマウスバスミレは主に道東の湿原などが分布域である。チシマウスバスミレは *Viola hultenii* とする考え方もある。
05. オオバキスミレ : *Viola brevistipulata* (Franch. et Savat.) W. Becker in Beih. Bot. Centralbl. Abt. 2, 34 : 265 (1916). var. *brevistipulata* 1  
Hab. : 渡島?・檜山・後志・胆振?・日高・空知・上川・留萌・十勝 05  
・オオバキスミレの仲間は細分されており、学名にやや問題のあるグループである。生態でも問題点が残されており、ミヤマキスミレとオオバキスミレは輪生か互生で分け 1

るが連続する例が確認されている。フチゲオオバキスマレの名前もふさわしくない。  
道北のオオバキスマレは葉縁に毛がある。フチゲオオバキスマレの形態は単生し、蕾  
時に花弁裏が赤茶色になることが特徴で太平洋側分布型である。

05-1. ミヤマキスマレ : var. *acuminata* Nakai in Bot. Mag. Tokyo 42 : 557 (1928).

Hab. : 渡島・檜山・空知・上川

05-2. フチゲオオバキスマレ : f. *ciliata* (M. Kikuchi) F. Maek. in Hara, Enum. Sperm  
Jap. 3 : 198 (1954).; var. *ciliata* M. Kikuchi in Ann. Rep. Fac. Lib. Art. Coll. Iwate  
1 : 79 (1950).

Hab. : 渡島・胆振・石狩

05-3. フギレオオバキスマレ : var. *lachiniata* (H. Boiss.) W. Becker in Beih. Bot.  
Centralbl. Abt. 2, 34 : 266 (1916).

Hab. : 渡島・檜山・後志・胆振・石狩・空知・留萌

05-4. シロバナフギレオオバキスマレ : var. *laciniata albiflora?*

Hab. : (石狩 — 新聞報道のみ)

05-5. エゾキスマレ (イチゲスマレ) : subsp. *hidakana* (Nakai) S. Watan. in Acta  
Phytotax. Geobot. 19 (1) : 27 (1961).

Hab. : 日高山系・夕張山系・天塩山系

05-6. シソバキスマレ : var. *crassifolia* (Koidz.) F. Maek. [in H. Hara, Enum. Sperm.  
Jap. 3 : 224 (1954), as syn.] ex S. Akiyama, H. Ohba et Tabuchi, comb. nov.  
; *Viola yubariana* Nakai in Bot. Mag. Tokyo 36 : 31, (53), (88) (1922).

Hab. : 夕張山系 (夕張岳)

05-7. コバナエゾキスマレ : f. *parviflora* S. Watan. in Acta Phytotax Geobot. 19 (1) :  
23-9 (1961).

Hab. : 大雪山系

05-8. ケエゾキスマレ : var. *ciliata* (Nakai) S. Watan. in Acta Phytotax. Geobot. 19  
(1) : 28 (1961).

.; var. *yezoana* Toyok. [Alp. Fl. Jap. : 320 (1988), nom. nud.] ex H. Nakai, H.  
Igarashi & H. Ohashi in J. Jap. Bot. 71 (6) 356-357 (1996).

Hab. : 日高山系・夕張山系

05-9. トカチキスマレ : f. *glabra* S. Watan. in Acta Phytotax. Geobot. 19 (1) : 28 (1961).

Hab. : 日高山系・夕張山系・大雪山系

05-10. フギレキスマレ : var. *incisa* (S. Watan.) F. Maek. et Hashim. in J. Jap. Bot. 43  
(6) : 161 (1968).

Hab. : 夕張山系 (芦別岳)

06. エゾタカネスミレ : *Viola crassa* Makino var. *boreslis* (H. Takahashi) T. Shimizu in New. Alp. Fl. Jap. Col. 1 : 183, 312 (1982).  
 Hab. : 日高山系・後志 (羊蹄山)・夕張山系・大雪山系  
 ・北海道のタカネスミレは高橋 (1974) によりエゾタカネスミレと変更された。
07. イソスミレ (セナミスミレ) : *Viola grayi* Franch. et Savat., Enum. Pl. Jap. 2 : 288 (1878). ; *Viola senamiensis* Nakai in J. Jap. Bot. 15 : 405 (1939).  
 Hab. : 渡島・檜山・後志・胆振・日高・石狩・釧路  
 ・イソスミレは海岸の減少にともない分布域が隔離されだしている。
08. タチツボスミレ : *Viola grypoceras* A. Gray in Narr. Perry's Jap. Exped. 2 : 308 (1856).  
 Hab. : 渡島・檜山・後志・胆振・日高・石狩・空知・上川・留萌・宗谷・網走・十勝・釧路・根室  
 ・タチツボスミレの仲間は花色、葉色などで多くの変種、品種に分けられている。タチツボスミレとケタチツボスミレはある場所では混生または単生し、分布特性の把握が現状では不明である。
- 08-1. シロバナタチツボスミレ : f. *albiflora* Makino in Bot. Mag. Tokyo 26 : 152 (1912).  
 Hab. : 渡島
- 08-2. ケオトメスミレ : f. *hemileuca* Honda in Bot. Mag. Tokyo 55 : 202 (1941).  
 Hab. : 渡島・石狩
- 08-3. シロバナケタチツボスミレ : f. *leucantha* H. Hara in Bot. Mag. Tokyo 50 : 301 (1936).  
 Hab. : 日高
- 08-4. オトメスミレ : f. *purpurellocalcarata* (Makino) Hiyama ex F. Maek. in H. Hara, Enum. Sperm. Jap. 3 : 202 (1954).  
 Hab. : 石狩
- 08-5. ケタチツボスミレ : var. *pubescens* Nakai in Bot. Mag. Tokyo 36 : (55) et (89) (1922).  
 Hab. : 渡島・檜山・後志・胆振・日高・石狩・空知・留萌・網走・十勝・釧路
09. サクラスミレ : *Viola hirtipes* S. Moore in Journ. Linn. Soc. 17 : 379, t. 16, f. 6 (1879).  
 Hab. : 渡島・胆振・日高・石狩・上川・十勝・網走・釧路・根室  
 ・サクラスミレの分布形態は太平洋型分布と思われるが一部が内陸に入っている。
10. アオイスミレ : *Viola hondoensis* W. Becker et H. Boiss. in Bull. Herb. Boiss. ser. 2, 8 : 739 (1908).  
 Hab. : 渡島・檜山・後志・胆振・日高・石狩・空知・上川・網走・十勝・釧路・根室

- ・エゾノアオイスミレ、ケマルバスミレなどとの誤同定問題も残されているが現時点では留萌、宗谷支庁以外の比較的低位での確認が目立つ種である。
11. コスミレ : *Viola japonica* Langsd. ex Ging. in DC., Prodr. 1 : 295 (1824).  
 Hab. : 渡島  
 ・コスミレは函館市周辺のみでの確認である。
12. オオバタチツボスミレ : *Viola langsdorfii* Fisch. subsp. *sachalinensis* W. Becker in Beih. Bot. Centralbl. Abt. 2, 34 : 253 (1916).  
 ; *Viola kamtschadalarum* W. Becker et Hulten in Ark. Bot. 22A (3) : 6 (1928).  
 Hab. : 渡島・後志・胆振・日高・石狩・空知・上川・留萌・宗谷・網走・十勝・釧路・根室  
 ・オオバタチツボスミレは道東、道北などの湿地などに主分布がある。
- 12-1. タカネタチツボスミレ : var. *parviflora* (Regel) Tatew. in Bull. Biogeogr. Soc. Jap. 4 : 283 (1934).  
 Hab. : 後志 (ニセコ?)・夕張山系・知床山系
- 12-2. ケオオバタチツボスミレ : var. *pubescens* Miyabe et Tatew. in Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 15 : 206 (1938).  
 Hab. : 詳細不明
13. ケマルバスミレ (マルバスミレ) : *Viola keiskei* Miq., Ann. Mus. Bot. Lugd.-Bat. 2 : 153 (1865).  
 ; *Viola keiskei* Miq. var. *okuboi* Makino in Bot. Mag. Tokyo 16 : 133 (1902).  
 Hab. : 胆振・日高・十勝  
 ・無毛タイプは稀なのでマルバスミレと呼ぶ場合もある。日高を中心に分布する。
14. シレットコスミレ : *Viola kitamiana* Nakai in Bot. Mag. Tokyo 42 : 564 (1928).  
 Hab. : 知床山系  
 ・知床にのみ分布する固有種である。
15. オオタチツボスミレ : *Viola kusanoana* Makino in Bot. Mag. Tokyo 26 : 173, 242 (1912).  
 Hab. : 渡島・檜山・後志・胆振・日高・石狩・空知・上川・留萌・宗谷・網走・十勝・釧路・根室  
 ・オオタチツボスミレの仲間では5品種が報告されている。筆者はヒダカタチツボスミレに関しては未確認である。
- 15-1. ヒダカタチツボスミレ : f. *brevicalcarata* (H. Hara) F. Maek. in H. Hara, Enum. Sperm. Jap. 3 : 206 (1954).  
 Hab. : 日高

- 15-2. ケオオタチツボスマレ : f. *pubescens* (Nakai) Mizushima in Sci. Res. Ozegahara: 450 (1954).  
 Hab.: 渡島・檜山・後志・胆振・石狩・空知・上川・留萌・宗谷・釧路・根室
- 15-3. シロバナオオタチツボスマレ : f. *alba* Masamune  
 Hab.: 渡島・石狩・留萌
- 15-4. モモイロオオタチツボスマレ : f. *rosea* Nagasawa  
 Hab.: 十勝
- 15-5. サクライロオオタチツボスマレ : f. *subrosea* H. Igarashi in J. Jap. Bot. 75 (3): 186-187 (2000).  
 Hab.: 檜山
16. スミレ : *Viola mandshurica* W. Becker in Bot. Jahrb. Syst. 54, Beibl. 120 : 179 (1917).  
 Hab.: 渡島・檜山・後志・胆振・日高・石狩・空知・上川・留萌・宗谷・網走・十勝・釧路・根室  
 ・スミレは多くの変種・品種が報告されているが毛の有無で分ける考え方は連続性の観点から近年は否定されている。
- 16-1. ケスマレ : f. *ciliata* (Nakai) F. Maek. in H. Hara, Enum. Sperm Jap. 3 : 207 (1954).  
 Hab.: 日高・上川・十勝
- 16-2. ケナシスマレ : f. *glabra* (Nakai) Hiyama in litt. ex F. Maek. in H. Hara, Enum. Sperm Jap. 3 : 208 (1954).  
 Hab.: 檜山 (奥尻島)・宗谷 (利尻島)・十勝
- 16-3. アナマスマレ : var. *crassa* Tatew., Rebun-to-shokubutsu-gaisetsu : 12 (1934).  
 ; f. *crassa* (Tatew.) F. Maek. in H. Hara, Enum. Sperm Jap. 3 : 208 (1954).  
 Hab.: 宗谷 (礼文島)・知床山系?
- 16-4. シロバナアナマスマレ : f. *albiflora*?  
 Hab.: 宗谷 (礼文島)
- 16-5. ホロムイスマレ : f. *horomuiensis* Sugimoto  
 Hab.: 空知
- 16-6. シロガネスマレ : f. *hasegawae* Hiyama  
 Hab.: 詳細不明
17. イブキスマレ : *Viola mirabilis* L. var. *subglabra* Ledeb., Fl. Ross. 1 : 251 (1842).  
 Hab.: 日高  
 ・日高にのみ (国内北限) 分布する。

18. ニオイタチツボスミレ : *Viola obtusa* (Makino) Makino in Bot. Mag. Tokyo 26 : 151 (1912).  
 Hab. : 渡島・檜山 (奥尻島)・胆振?  
 ・道南などに分布することが報告されているが形態がケタチツボスミレに近い個体が目立ち本州に見られるような濃紫花は今のところ見かけない。
19. シロスミレ (シロバナスミレ) : *Viola patrinii* DC. ex Ging. in DC., Prodr. 1 : 293 (1824).  
 Hab. : 渡島・後志・胆振・石狩・空知・宗谷・網走・十勝・釧路・根室  
 ・湿生地を好み海岸草原などでも見かける。1品種が報告されている。
- 19-1. トヨコロスミレ : f. *toyokoroensis* Ko. Ito  
 Hab. : 十勝
20. アカネスミレ : *Viola phalacrocarpa* Maxim. in Bull. Acad. Imp. Sci. St.-Petersb. 23 : 318 (1877); in Mel. Biol. 9 : 726 (1877).  
 ・サクラスミレ同様に太平洋型の分布形質を持つと思われる。2品種が報告されているが無毛タイプのオカスミレは未確認である。  
 Hab. : 渡島・檜山・胆振・日高・石狩・空知・上川・宗谷・網走・十勝・釧路・根室
- 20-1. オカスミレ : f. *glaberrima* (W. Becker) F. Maek. in Hara, Enum. Sperm. Jap. 3 : 213 (1954).  
 Hab. : 胆振・石狩
- 20-2. ウスアカネスミレ : f. *pallescens* (Nakai) M. Nagas. ex F. Maek.  
 Hab. : 渡島・網走
21. タニマスミレ (オクヤマスミレ) : *Viola repens* Turcz. in Bull. Soc. Nat. Moscou 11 : 88 (1838).  
 ; *Viola epipsiloides* A. Love et D. Love in Bot. Not. 128 (4) : 516 (1975).  
 Hab. : 後志・胆振・日高・石狩・空知・上川・網走・十勝  
 ・高山などの湿地に生育する。
22. アケボノスミレ : *Viola rossii* Hemsley ex Forbes et Hemsley in J. Soc. Bot. 23 : 54 (1886).  
 Hab. : 渡島・胆振・日高・石狩・空知  
 ・各地で報告されているが函館でしか見ていない。
23. ナガハシスミレ (テングスミレ) : *Viola rostrata* Pursh. var. *japonica* (W. Becker et H. Boiss.) Ohwi [Fl. Jap. : 794 (1953), comb. nud.] in Bull. Nat. Sci. Mus. Tokyo no. 33 : 80 (1953).  
 Hab. : 渡島・檜山・後志・胆振・石狩・宗谷

- ・日本海型であり、檜山や後志（小樽）などでは個体数も多い。浜頓別町、枝幸町などの宗谷支庁にも生育している。
- 23-1. シラユキナガハシスミレ : f. *alboflora* Y. Ueno in J. Jap. Bot. 57 : 318 (1982).  
 Hab. : 檜山
24. アイヌタチツボスミレ : *Viola sacchalinensis* H. Boiss. in Bull. Soc. Bot. France 57 : 188 (1910).  
 Hab. : 渡島・後志・胆振・日高・石狩・空知・上川・留萌・宗谷・網走・十勝・釧路・根室  
 ・道央では低山の岩場などに生育するが道東では海岸部でも確認される。
- 24-1. シロバナアイヌタチツボスミレ : f. *chionantha* in Hama (1993)?  
 Hab. : 石狩・上川
- 24-2. アポイタチツボスミレ : var. *alpina* H. Hara in Bot. Mag. Tokyo 50 : 303 (1936).  
 Hab. : 後志・胆振・日高・空知・上川・留萌・宗谷・十勝
- 24-3. シロバナアポイタチツボスミレ : f. *albaalpina* in Hama (1993)?  
 Hab. : 日高
- 24-4. イワマタチツボスミレ : var. *miyakei* (Nakai) Ohwi, Fl. Jap. ed. 1 : 75 (1953).  
 Hab. : 網走?  
 ・本種は疑問であるが掲載した。
25. ミヤマスミレ : *Viola selkirkii* Pursh ex Goldie in Edinb. Phil. Journ. 6 : 319 (1822).  
 Hab. : 渡島・檜山・後志・胆振・日高・石狩・空知・上川・留萌・宗谷・網走・十勝・釧路・根室  
 ・花色には変化が多いが白花、フイリ以外は分けていない。
- 25-1. シロミヤマスミレ (シロバナミヤマスミレ) : f. *alboflora* (Nakai) F. Maek. in H. Hara, Enum. Sperm. Jap. 3 : 217 (1954). ; f. *leucantha* Hashim., Hashimoto, Violets Jap. : 19 index (1967).  
 Hab. : 後志・石狩・空知・宗谷・根室
- 25-2. フイリミヤマスミレ : var. *variegata* Nakai in Bot. Mag. Tokyo 36 : 37 et (59) (1922).  
 ; f. *variegata* (Nakai) F. Maek. in H. Hara, Enum. Sperm. Jap. 3 : 217 (1954).  
 Hab. : 渡島・檜山・後志・胆振・日高・石狩・空知・上川・留萌・宗谷・網走・十勝・釧路  
 ・品種にされることが多いが、豊国 (1988) に従い変種とする。
- 25-3. ハダカミヤマスミレ : f. *subglabra* (W. Becker) Mizushima in Journ. Bot. 27 : 144 (1952).

Hab. : 詳細不明

・この変種報告があるが分けるの必要性は感じない。

26. エゾノアオイスミレ (マルバケスミレ) : *Viola teshioensis* Miyabe et Tatew. in Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 14 : 187 (1936). ; *Viola collina* Bess. Catal. Hort. Cremonesi : 151 (1816).

Hab. : 渡島・後志・胆振・日高・石狩・空知・上川・留萌・宗谷・網走・十勝・釧路  
・蛇紋岩地帯で目立っていたが他の地域でも最近確認が続いており分布は検討中である。

- 26-1. シロバナテシオスミレ : f. *albiflora* Tatew. ex Miyabe et Tatew. in Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 14 : 187 (1936).

Hab. : 胆振・上川

27. ヒナスミレ (アラゲスミレ) : *Viola tokubuchiana* Makino var. *takedana* (Makino) F. Maek. in H. Hara, Enum. Sperm. Jap. 3 : 218 (1954).

Hab. : 渡島・胆振・日高・石狩・空知・上川・十勝・釧路

- 27-1. エゾヒナスミレ : f. *austroyezoensis* (Kawano) F. Maek. et Hashim. in J. Jap. Bot. 43 (6) : 162 (1968).

Hab. : 胆振・石狩

・ヒナスミレの小型タイプであるが栄養状態の悪い場所で見かける。

- 27-2. フィリヒナスミレ : f. *variegata* (Nakai) Makino [Ill. Fl. Nippon : 313 (1940), comb. invalid.] ex F. Maek. in H. Hara, Enum. Sperm. Jap. 3 : 219 (1954).

: var. *variegata* Nakai in Bot. Mag. Tokyo 36 : 37, (59) (91) (1922).

Hab. : 島渡・日高・石狩

- 27-3. シロバナヒナスミレ : f. *albiflora* H. Igarashi ?

Hab. : 石狩

・花の終わり頃に白っぽくなる場合があるが 2002 年純白品種を本会会員の高野秀樹氏の案内で千歳市で確認した。

28. スミレサイシン : *Viola vaginata* Maxim.

Hab. : 渡島・檜山・後志・胆振・日高・石狩・空知・留萌・宗谷

・日本海型の多雪地帯分布タイプであるが枝幸町でも確認された。

- 28-1. シロバナスミレサイシン : f. *albiflora* Honda, Nom. Pl. Jap. ed. em. : 389 (1957).

Hab. : 渡島・檜山・後志・石狩

- 28-2. オトメスミレサイシン : f. *purpurellocalcarata* H. Igarashi in J. Jap. Bot. 75 (3) : 186 (2000).

Hab. : 渡島

・距が紫色で花卉が白色の品種。

29. ツボスミレ (ニョイスミレ) : *Viola verecunda* A. Gray, Bot. Jap. : 382 (1859).  
 Hab. : 渡島・檜山・後志・胆振・日高・石狩・空知・上川・留萌・宗谷・網走・十勝・釧路・根室
- 29-1. アギスミレ : var. *semilunaris* Maxim. in Bull. Acad. Imp. Sci. St.-Petersb. 23 : 335 (1877).  
 Hab. : 渡島・檜山・後志・胆振・日高・石狩・空知・上川・留萌・宗谷・網走・十勝・釧路・根室  
 ・上記分布の中で一部はツボスミレとの誤同定を含む可能性があり疑問である。
- 29-2. ムラサキコマノツメ : f. *violascens* Hiyama ex F. Maek.  
 Hab. : 渡島・後志・胆振・日高・石狩・上川・留萌・網走・十勝・釧路・根室  
 ・淡紫色の品種は各地で見かける。
30. マキノスミレ : *Viola violacea* Makino, Ill. Fl. Jap. 1 (11) : t. 67 (1891).  
 Hab. : 渡島  
 ・函館在住の丸藤久平氏が道南で確認、現在検討中の種。
31. ヒカゲスミレ : *Viola yezoensis* Maxim. in Bull. Acad. Imp. Sci. St.-Petersb. 23 : 325 (1877).  
 Hab. : 渡島・檜山・胆振・日高・十勝・釧路  
 ・ヒカゲスミレは太平洋型の分布タイプである。葉が黒くなる品種も確認。
- 31-1. ハグロスミレ : f. *discolor* (Nakai) Hiyama ex F. Maek.  
 Hab. : 渡島・日高

帰化種・逸出種 : Naturalized species

現在までに以下に整理する5種が道内には帰化または逸出している。アメリカスミレサイシン (パピリオナケア) は濃紫花であるが、別品種では白花 (スノーホワイト、スノープリンセス) や中心が紫色の白花 (プリケアナ)、白地に紫色の斑点 (フレックス) などが園芸種で見られる。ニョイスミレも濃紫花以外に紅紫、クリーム色などが確認されているが現時点では品種分けをしていない。ノハラサンシキスミレは小型のパンジーをとりあえず呼んでいるが別種が含まれている可能性がある。

01. ニョイスミレ : *Viola odorata* L., Sp. Pl. : 934 (1753).  
 Hab. : 渡島・石狩・空知
02. キクバスミレ (クワガタスミレ) : *Viola palmata* L., Sp. Pl. : 933 (1753).  
 Hab. : 日高
03. アメリカスミレサイシン (アメリカフキスミレ) : *Viola sororia* Willd., Enum. Pl. : 72 (1809).

Hab.: 石狩・十勝・網走

04. ノハラサンシキスミレ (サンシキスミレ): *Viola tricolor* L., Sp. Pl.: 935 (1753).

Hab.: 渡島・後志・胆振・日高・石狩・空知・上川・留萌・宗谷・網走・釧路

05. フイリゲンジスミレ: *Viola variegata* Fisch. ex Link, Enum. Hort. Berol. Alt. 1: 240 (1821).

Hab.: 網走

(北海道野生植物研究所)

#### 参考文献

Akiyama S., Ohba H. and Tabuchi S. 1999. Violaceae. Flora of Japan. IIc: 16-190. Kodansha, Tokyo.

橋本保 1967. 日本のスミレ. 206 pp. 誠文堂新光社, 東京.

浜栄助 1975. 原色日本のスミレ. 280 pp. 誠文堂新光社, 東京.

浜栄助 (編) 1987. 写真集日本のすみれ. 188 pp. 誠文堂新光社, 東京.

原 寛 1954. 日本種子植物集覧. 岩波書店, 東京.

五十嵐博・梅沢俊 2000. ケマルバスミレ北海道に産す. 植物研究雑誌 73: 187-189.

五十嵐博・高橋誼・三浦忠雄 2001. 北海道のイブキスミレ. 植物研究雑誌 76: 177-179.

いがりまさし 1996. 山溪ハンディ図鑑 6. 日本のスミレ. 247 pp. 山と溪谷社, 東京.

伊藤浩司・日野間彰・中井秀樹 1994. 北海道高等植物目録III. 480 pp. たくぎん総合研究所, 札幌.

井波一雄 1966. 日本スミレ図譜. 187 pp. 六月社, 大阪.

菊池政雄 1950. 岩手県のスミレ. 岩手大学教育学部研究年報 I: 70-83, 盛岡.

前川文夫・橋本保 1963. 日本のスミレ, Violets of Japan, pp.8.

前川文夫・橋本保 1968. 日本のスミレ追記. 植物研究雑誌 43(6): 161-163.

榎山泰一 1982. スミレ科. 日本の野生植物. 草本II: 243-253. 平凡社, 東京.

中井秀樹・五十嵐博・大橋広好 1996. フチゲオオバキスミレとケエゾキスミレの学名. 植物研究雑誌 71(6): 356-357.

田淵誠也 1996. すみれ図鑑. 174 pp. 枳の葉書房, 鹿沼.

土田忠男 1990. 山草 20~21 合併号: 32-37. 北海道山草会, 岩見沢.